

続きましたが、1976年以来の水中考古学の成果でもう一つ重要な点は、発見された船舶が11世紀から14世紀までを網羅し、そこから引き揚げられた陶磁器もまた、高麗青磁の歴史全体を見渡せるものとなっていることです。初期では11世紀の挿矢島海底から引き揚げられた青磁の碗、最盛期の12世紀～13世紀前半では泰安船や馬島1号船・2号船で引き揚げた碗・皿・蓋・鉢・梅瓶等々、末期の14世紀のものとしては鉢などがあります。

以上のほかに、個々の引き揚げ青磁や青磁陶片のなかに、現存する高麗青磁には見られないきわめて珍しいものがあることも見逃せません。泰安郡泰安船から引き揚げられた「青磁獅子形香炉蓋」【写真2】の獅子は、角のように立つ鼻に、四角い口から牙を見せ、横へ広がった両眼など、ユニークな造形です。また泰安郡馬島2号船の「青磁象嵌菊牡丹柳蘆竹文梅瓶」【写真3】は、肩が強く張り、胴裾にいたって大きくS字状に絞られる美しい曲線を備え、典型的な高麗青磁梅瓶の優美さを備えています。この梅瓶にはもう一つ、驚くべき事実があります。船体で発見された時、品名を記した木簡が口縁部に付いたままになっており、この梅瓶がごま油の輸送に使われていたことが、初めて明らかとなりました。愛らしい「青磁彫刻童女形水滴」【写真4】は、「青磁彫刻童子形水滴」とともに本館の所蔵品のなかでもとくにファンが多いのではないのでしょうか。保寧市元山島海底から出土した青磁童子形水滴片【写真5】は、子どもながらも上品で気品の高い表情や、翡翠のような美しい釉色など、本館の所蔵品と同質のすばらしいものです。



青磁象嵌菊牡丹柳蘆竹文梅瓶【写真3】
高麗時代・12世紀末～13世紀初(1213年以前)
泰安郡馬島海底馬島2号船
国立海洋文化財研究所蔵



青磁彫刻童女形水滴【写真4】
高麗時代・12世紀
住友グループ寄贈/安宅コレクション
大阪市立東洋陶磁美術館蔵



青磁童子形水滴片【写真5】
保寧市元山島海底
高麗時代・12世紀後半～13世紀前半
国立海洋文化財研究所蔵

I 講演会

韓国西海岸の 水中遺跡と高麗陶磁

講師 吉良文男氏(陶磁史研究者)
日時 平成27年11月8日(日)
午後2時～4時
(受付は午後1時30分より)
定員 70名
会場 大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂
参加費 無料 特別展の観覧券
(友の会会員様は会員証)を
ご提示ください。

■申込み方法

- 往復はがきに、ご希望の講演会開催日と住所・氏名・電話番号を明記の上、「東洋陶磁美術館学芸課」までご郵送ください(友の会会員様は会員番号を明記ください)。
- はがき1枚につき、1催事1名様有効。
- お申込み締切は、平成27年10月20日(火)必着です。
- 応募者多数の場合は抽選となります。
- お申込みの際にご提供いただく住所・氏名などの個人情報(厳重に管理し、本事業の実施ならびに事務連絡以外には使用いたしません)。

II 担当学芸員による見どころ解説

日時 10月24日(土)
11月15日(日)
11月21日(土)
午後2時～2時30分
(午後1時45分より開場)
定員 50名(当日先着順)
参加費 無料(ただし、特別展の観覧券が必要)
会場 大阪市立東洋陶磁美術館・地下講堂

学芸員のおススメコレクション

大阪市立美術館 国枝金三《梅檀の木の家》

明るい日差しを浴びるセンダンの木立の奥に白壁の家が建っています。細かな筆致を重ねて対象をとらえる技法は、当時日本の洋画壇を席卷していたセザンヌ風の特徴の一つです。「セザンヌ風」というのは、洋行帰りの安井曾太郎の滞欧作に大いに感化され、いわば間接的にセザンヌの影響を受けた画風のことを指します。国枝金三(1886-1943)は大阪出身の洋画家で、小出楯重や鍋井克之らと信濃橋洋画研究所を設立し、関西洋画壇の発展に大きく貢献しました。ところで、「梅檀は双葉より芳し」の「梅檀」は日本に産出しない白檀のことで、ここに描かれているオウチの和名で知られるセンダンの木とは別種です。(大阪市立美術館 学芸員 児島大輔)

※今回紹介した作品は、大阪市立美術館で開催中の特別展「伝説の洋画家たち 二科100年展」に出品されています。全国から集まった近代日本洋画の名作を是非ご覧ください。<11/1(日)まで>



国枝金三《梅檀の木の家》1921年
大阪市立美術館蔵

大阪市立美術館 ●所在地 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82(天王寺公園内) ●TEL 06-4301-7285(大阪市総合コールセンター なにわコール) ●FAX 06-6771-4856 ●アクセス 天王寺駅より北西へ約400m(天王寺公園内) ●ホームページ http://www.osaka-art-museum.jp/sp_evt/nika-100/

大阪市立の博物館・美術館・動物園
Osaka Museums
<http://www.ocmo.jp/museums/>



大阪市立科学館 大阪市立美術館 天王寺動物園 大阪城天守閣
大阪市立東洋陶磁美術館 大阪歴史博物館 大阪新美術館建設準備室
大阪市立自然史博物館 大阪くらしの今昔館 大阪文化財研究所